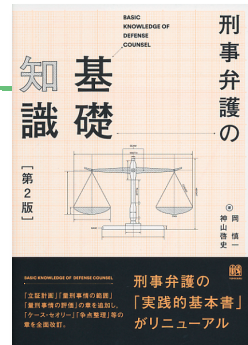


刑事弁護の基礎知識〔第2版〕

岡 慎一 = 神山啓史

2018年12月発売 / 310頁 / 本体2600円+税
A5判 / 並製



編集
担当者
から

3年振りの待望の改訂版です。今回の改訂版では、刑事弁護において重要な「ケース・セオリー」という結論を導く説得的な論拠をどうやって作りあげていくかを具体例に沿って解説していくコンセプトは初版と同様ですが、「ケース・セオリー」の意義をより明確化しています。

具体的には、量刑弁護についての章（「立証計画」「量刑事情の範囲」「量刑事情の評価」）を追加し、「ケース・セオリー」「争点整理」等の章は全面的に書き直しています。また、初版刊行以降の新しい裁判例も多数紹介しています。

初版同様、法科大学院生や刑事弁護経験の少ない若手弁護士の方はもちろん、法学部生でも読みやすい本となっています。ぜひ、手にとってみてください！（五島）

Index

I

「ケース・セオリー」の意義をより明確化するため、全面的に構成を見直しました。

〔初版目次〕

- 第1部 基本編
 - 刑事裁判の変化 / 弁護人の任務と方針決定 / ケース・セオリー / 捜査段階の弁護活動 / 身体拘束からの解放 / 起訴後の公判準備（概要） / 証拠開示 / 弁護人による調査と証拠収集 / 検察官請求証拠に対する意見 / 公判前整理手続における争点及び証拠の整理 / 最終弁論 / 冒頭陳述 / 証人尋問のルールと異議 / 主尋問 / 反対尋問
- 第2部 ケース編：否認事件
 - 〔ケース1〕強盗殺人未遂事件 / 〔ケース2〕強盗致傷事件
- 第3部 量刑についての弁護活動
 - 量刑判断の枠組み / 量刑事件におけるケース・セオリー / 量刑事件弁護の留意点 / 殺人事件の量刑弁護 / 傷害致死事件の量刑弁護 / 強姦致傷事件の量刑弁護 / 強盗致傷事件の量刑弁護
- 第4部 弁護活動の限界
 - 弁護活動の限界

〔第2版目次〕

- 第1部 序論
 - 刑事裁判の変化と弁護の課題 / 弁護人の任務 / ケース・セオリー
- 第2部 基本編
 - 公判準備の概要 / 被疑者・被告人からの事情聴取 / 証拠開示 / 弁護人による調査と証拠収集 / 立証計画 / 検察官請求証拠に対する意見 / 公判前整理手続における争点及び証拠の整理 / 最終弁論 / 冒頭陳述 / 証人尋問のルールと異議申立て / 主尋問 / 反対尋問
- 第3部 量刑弁護編
 - 量刑弁護の課題 / 量刑判断の枠組み / 量刑事情の範囲 / 量刑事情の評価 / 量刑弁護の公判準備
- 第4部 捜査段階
 - 捜査段階の弁護活動
- 第5部 身体拘束からの解放
 - 身体拘束からの解放をめざす弁護活動